

第40回テニス日本リーグ 開催要項

主 催	公益財団法人日本テニス協会						
主 管	一般社団法人関東テニス協会 関西テニス協会						
後 援	日本経済新聞社 横浜市 三木市						
運 営 協 力	神奈川県テニス協会 一般社団法人兵庫県テニス協会 一般社団法人東京都テニス協会						
期 日	(1) 男子リーグ ファーストステージ 2025年12月 4日(木) ～ 7日(日) 						

チーム編成 及び参加資格	下記記載のチーム編成を満たす実業団であって上記 7 に該当するものが下記 13 に定める申込手続を行うことで第 40 回テニス日本リーグ（以下「本大会」）に出場することができる。 *男女共に、部長、監督及びマネージャー各 1 名。トレーナーは複数可とするが、部長、監督、マネージャーその他の（選手以外の）構成員と合計して 8 名以内とする。選手（補強選手を含む）は 4 名以上 9 名以内とする。また、各チームの連絡担当者は、上記のいずれかとして各実業団の構成員とされた者に限る。なお、上記のいずれかとしての各実業団の構成員としての登録は、1 名の者につき 1 つの実業団（選手以外は、男女各 1 つの実業団）に限り認められる。 *男女共に、選手が、部長、監督、トレーナー又はマネージャーを兼任できる。 *各実業団の選手としての登録は、2025 年 10 月 1 日現在及びそれ以降本大会期間中を通じて、以下①、②又は③のいずれかに該当する者に限り認められる。いずれも JTA 登録のある選手は、所属団体を当該実業団と同一とすること。（①の該当選手は当該実業団子会社所属を可とする。） ①当該実業団の運営主体若しくは所属団体又はその連結決算対象の親会社若しくは子会社と直接雇用契約のある従業員。 ② JTA 登録のプロフェッショナル選手又は JTA 登録のない外国籍選手のいずれかに該当する選手で、当該実業団の運営主体若しくは所属団体又はその連結決算対象の親会社若しくは子会社と所属契約を締結している選手。なお、JTA 登録のない外国籍選手の出場は 1 回の対抗戦につき 1 試合とする。 ③男女共に、学生（義務教育対象者は除く）である選手については、2025 年 10 月 1 日現在及びそれ以降本大会期間中を通じて、いずれか 1 つの実業団において上記①又は②に該当する場合、かつ、2025 年 10 月 1 日現在において JTA プロフェッショナル登録又は登録申請を完了している場合、当該実業団の選手としての登録が認められる。 *女子の実業団においては、2025 年 10 月 1 日現在及びそれ以降本大会期間中を通じて、以下の①、②又は③のいずれかに該当する者を、当該実業団における補強選手として登録することができる。また、当該実業団は、2025 年 10 月 1 日現在及びそれ以降本大会期間中を通じて、当該実業団の拠点 1 箇所を都道府県単位で指定のうえ、JTA 実業団委員会事務局（以下「本事務局」）所定の申請書を提出しなければならない。補強選手の出場は、1 回の対抗戦につき 1 試合とする。 ①当該実業団の拠点（都道府県）の在住又は在勤の社会人であること。 ②当該実業団の拠点（都道府県）の中学・高校又は大学のいずれかを卒業している社会人であること。 ③当該実業団の運営主体又は所属団体の元社員又は元職員であること。 *各実業団は、その構成員として登録した選手（以下「登録選手」）について所属地域に関係なく同一実業団内でベストメンバーを組むことができる。 *各実業団における参加申込後のチームの選手の変更又は追加は、男子が 2025 年 12 月 4 日、女子が 12 月 5 日の監督会議で 1 名に限り許可する。 *第 39 回テニス日本リーグに出場した実業団の登録選手であって、第 64 回全国実業団対抗テニス大会（ビジネス・テニス）にも出場した選手は、本大会においてはいずれの実業団の選手としても登録することはできない。 *本事務局は、各実業団の運営主体又は所属団体等に対し、選手の参加資格確認の為、雇用契約又は所属契約が分かる契約書等の開示を求めることがある。
試合方法	男子：2 シングルス、1 ダブルスの対抗リーグ戦、トーナメント 女子：2 シングルス、1 ダブルスの対抗リーグ戦、トーナメント *但し、同一選手は、1 回の対抗戦においてシングルス、ダブルスに重複して出場できない。 *シングルのオーダー順位は、登録順とする。 *シングルス・ダブルスとも、ベストオブ 3 セット ファーストセカンドセットはタイブレークセット(2 タイブレーク セット)、ファイナルセットは 10 ポイントマッチタイブレークとする。 *止むを得ない理由により、選手数が不足した場合でも、出来る試合は成立させる。 (1) 男 子 [1st・2nd ステージ] 18 チームをレッド・ブルーの 2 ブロックに分け、各ブロック (9 チーム) でラウンドロビンを行う。 [決勝トーナメント] 1st・2nd ステージの各ブロック上位 4 チーム計 8 チームによるトーナメントを行い、優勝チームを決定する。5 位決定戦及び 7 位決定戦を決勝トーナメント 2 日目の土曜日に行う。 [降格 (次年度の出場資格)] 1st・2nd ステージの各ブロック下位 2 チーム計 4 チームはリーグから降格する。各ブロックの上位 7 チーム計 14 チームが次年度の出場資格を取得し、各ブロック下位 2 チーム計 4 チームがそのストレート・インの資格を喪失する。但し、残留チームから不参加が出た場合その限りではない。 (2) 女 子 [1st・2nd ステージ] 12 チームをレッド・ブルーの 2 ブロックに分け、各ブロック (6 チーム) でラウンドロビンを行う。 [決勝トーナメント] 1st・2nd ステージの各ブロック上位 3 チーム計 6 チームによるトーナメントを行い、優勝チームを決定する。5・6 位決定戦を決勝トーナメント 2 日目の土曜日に行う。 [降格 (次年度の出場資格)] 1st・2nd ステージの各ブロック下位 1 チーム計 2 チームはリーグから降格する。各ブロックの上位 5 チーム計 10 チームが次年度の出場資格を取得し、各ブロック下位 1 チーム計 2 チームがそのストレート・インの資格を喪失する。但し、残留チームから不参加が出た場合その限りではない。 *男女とも不測の事態等による大会の延期・中止等の対応の要否は JTA の判断とする。 (3) 試合順序 試合順序は原則として、シングルス 2・1、ダブルスの順とする。男子・女子とも原則として 2 面 1 対抗、3 面 2 対抗とするが、会場の条件により 1 面 1 対抗とすることがある。 (4) 勝敗決定後のポイント打ち切り 決勝トーナメントは、勝敗決定次第ポイント打ち切りとする場合がある。
審 判	ソロチェア・アンパイアシステムで行う。但し、早朝又は夜間の場合はセルフジャッジもある。 決勝トーナメントは、別に決定する。
使 用 球	ヨネックス TOUR PLATINUM
表 彰	(1) 団 体 男子：優勝・準優勝・3 位・4 位・5 位・7 位・ベストアマチュア賞・特別賞 女子：優勝・準優勝・3 位・4 位・5 位・6 位・ベストアマチュア賞・特別賞 (2) 個 人 最高殊勲選手・男女各 1 名 (組) 最優秀選手・男女各 1 名 (組) 優秀選手・男女選考基準該当数 敢闘選手・男女選考基準該当数 最優秀新人選手男女各 1 名 (組) ベストアマチュア賞・特別賞
そ の 他	①本大会期間中における負傷等については、主催者加入の傷害保険の範囲内で補償する。 ②ドーピング検査の実施